

シンポジウム「地域社会がはぐくむ再生古地図」

三重大学伊賀連携フィールド事業

「伊賀連携フィールド事業」は、三重大学、伊賀市、上野商工会議所、伊賀市文化都市協会の連携協力の下、実施しています。

司会：高尾善希（三重大学人文学部准教授）

日時：2024 年 8 月 29 日（木曜日） 13 時 00 分～14 時 30 分

場所：ハイトピア伊賀（三重県伊賀市上野丸之内 500）3 階コミュニティ情報プラザホール 参加無料・申込み不要

※このシンポジウムの様子は、後日、YouTube 三重大学国際忍者研究センター公式チャンネルで配信されます。

株式会社櫻井印刷所代表取締役社長 櫻井理恵（さくらい りえ）

「川越城下かさね地図から始まる新しい川越観光ー地域の歴史・文化の再発見ー」

年間 700 万人を超える関東圏の観光地として名を馳せている小江戸・川越。食文化の豊かさ、歴史の深さをくる人・住む人に知ってもらうことで新しい魅力の発見、また移住・定住を見越した地域の存続につながる、老舗印刷会社ならではの施策を紹介します。

株式会社櫻井印刷所代表取締役社長 櫻井理恵（さくらい りえ）

1980 年 8 月 18 日生。成城大学大学院文学研究科修了（ドイツ文学専攻）。株式会社櫻井印刷所の四代目として 2014 年取締役社長に就任。大学院在学中の編集・執筆業の経験から 2015 年に「kawgoe premium」を発行。2016 年「全国タウン誌・フリーペーパー大賞」において大賞を受賞。2017 年に同社代表取締役に就任。印刷業をベースに地域情報を発信するフリーペーパー「コエドノコト」の活動や、自社ブランド「文星舎」の立ち上げなどを行っている。川越在住、四児の母。



株式会社コギト取締役兼商品企画開発室長 白井伸介（うすい しんすけ）

「地域の歴史地図を現代に蘇らせる “再生古地図”の取り組み」

地域に残る古地図や歴史資料と長年の研究成果などを持ち寄り、主に自治体を中心となり、教育機関や DMO などの協力によって、地域の特定の時代の姿を、現代の地図製作技術を以て今に蘇らせる『再生古地図』。コロナ禍に始まったその取り組みの事例は 10 地域を数えます。地域の思いと共に、その事例をご紹介します。

株式会社コギト 取締役 兼 商品企画開発室長 白井伸介（うすい しんすけ）

1964 年 11 月 27 日、群馬県館林市生まれ。京都大学文学部哲学科(美学美術史)中退。システム開発会社の SE を経て、2006 年現コギトに入社。自社サービスの構築・展開を手掛ける中、自社企画・開発によるデジタル・イラストマップ・アプリである『ambula map(アンブラマップ)』を 2018 年 7 月にリリース。合わせ『再生古地図』の GIS 対応のデジタル化サービスも市場投入を行う。



問い合わせ：三重大学国際忍者研究センター（三重県伊賀市上野丸之内 500 ハイトピア伊賀 2F 0595-51-7154）